

意見と理由の30秒トーク【生徒用・課題カード】

Class _____ No. _____ Name _____

🎯 **ゴール:** お題に対して、意見+理由2つを30秒で言える

場面 帰りの会の「30秒スピーカー」。お題カード(例: 夏と冬どっちが好き?)を引いたら、10秒考えて30秒トーク!

型: I think ~. I have two reasons. First, ~ because Second, if ~, That's why I think ~.

お題例: 朝ごはんはパン?米? / 宿題は多い方がいい? / ペットにするなら?(当日カードで決定)

準備 テストまでにすること(帯活動2週間)

帯「賛成?反対?ライン」で意見+理由の瞬発力を鍛えておく。becauseとifのあとに主語+動詞、を毎回確認。

本番 時間: 1人・考え10秒+30秒 / 評価: 4観点×3段階(12点)

達成	相手に伝わったか・目的をはたせたか(いちばん大事!)
正確さ	今回の言語材料(下の「使う形」)が正しく使えたか
流暢さ	止まらずに続けられたか(完ぺきでなくてOK、リカバリーも実力)
態度・やり取り	聞き手を見て・声がとどいたか・あいさつと締めがあったか

✓ 聞き返し(Pardon? / One more time, please.)は減点ではなく加点。本物の会話の技だから、遠りよく使おう。

ねらい このテストは何を・なぜ測るのか

測る力	立場を決め、理由を添えて即座に意見を述べる力(即興の意見表明)
なぜ必要か	接続詞(because/if)の単元の到達点は「理由が言える」こと。10秒→30秒の即興形式は、原こう依存を断ち切り、型(I think... I have two reasons...)の内在化を測る。全国学テのB問題・入試の英作文が求める「意見+理由」の口頭版。

評価 ルーブリック(B列=評価規準「おおむね満足の姿」。採点前に一読してから始める)

達成	A(3点) 意見+理由2つが明確で、説得力があった	B(2点)=評価規準 意見+理由1つ以上が伝わった	C(1点) 意見のみ・理由なし
正確さ	A(3点) because/if節の形が正確	B(2点)=評価規準 誤りはあるが理由として通じる	C(1点) becauseのあとが続かない
流暢さ	A(3点) 即興でも型に乗って淀みない	B(2点)=評価規準 間はあるが30秒話した	C(1点) 15秒未満で停止
態度	A(3点) 聞き手を見て堂々と	B(2点)=評価規準 声が届く	C(1点) 聞こえない

✓ C→Bの手立て: お題を事前公開リストからの出題に変えて再挑戦(即興性の条件を1段下げる)

運用 当日の流れ(1コマで20人)

1	ルーブリック(このページ)のB列を一読してから開始——「おおむね満足の姿」を採点の物差しとして頭に置く
2	課題カード(1ページ目)の場面と評価観点を全体で確認(2分)。聞き返しは加点、と必ず伝える
3	順番票にしたがって実施(1人・考え10秒+30秒)。採点はその場で記録シートに○をつけるだけ
4	待ち時間の生徒には観察メモ(よかった表現を1つ書く)または自習課題を指定
5	全員終了後、よかった例を2~3、名前を挙げてほめて締める(次回への空気づくり)

☆運用のコツ 「10秒の考えタイム」に型の最初の文(I think...)を口の中で作らせるのがコツ。全員の前が苦手な生徒には4人グループ内発表の選択肢を——観点は同じなので公平に評価できます。

記録

その場で○をつけるだけ(A=3 B=2 C=1)

名前	達成	正確さ	流暢さ	態度	計	メモ(次への一言)
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	

✓ 印刷して名簿順に並べておくと、テスト中の記入が3秒で済みます。「メモ」は返却時のフィードバックの種——1語でOK。